

公益財団法人富山第一銀行奨学財団

理事長 金岡 純二 殿

## 助成研究成果概要報告書

教育機関名 : 富山大学	助成金額 : 450 千円	
研究代表者 : 隅 敦	所属 : 人間発達科学部	職位 : 教授
研究題目 : 若手小学校教員の実技教科の授業力向上をめざす教員養成教育に資する研究		

## 研究概要

本研究は、“主要教科”に比して若手教員の研修の機会が少ない図画工作科を含む“実技教科”の授業力向上に向けて授業分析を行い聞き取り調査を実施して実態を把握した上で、大学における教員養成教育に反映させていくことを目的とした。

そのために、以下の手順で研究を行った。

①若手教員の実技教科の授業の動画撮影を行って発話をテキスト化した。

②研究対象者と共に動画分析の結果について確認しながら、教科観・授業構成力・教師の技能・授業準備・指導技術・他教科の指導と重複する指導法について、教員養成段階での既習事項との比較を行った。

③聞き取り調査の録音記録をテキスト化しテキストマイニングソフトを通してキーワードを抽出しながら、若手教員がどのような視点で授業を作り上げていくのか、関心の高い内容を焦点化した。

④若手教員の発話を含む行為と子供の反応に注目しながら質的データ分析ソフト（MAXQDA2018）に若手教員の授業ビデオ動画記録、授業発話記録のテキストデータ、聞き取り調査の分析結果等をインポートし、各種データをコーディングしながら再分析を行い、実態を整理した上で、教員養成教育で求められる要素を抽出した。

なお、発話の分析は以下の観点でコーディングした。

指示（授業の中で児童がすべきことを示す発話）、示範（用具の使用法等を実演しながら解説する発話）、提示（参考作品になる児童の実技の様子を取り上げて見せながら指導する発話）、質問（児童に対して指導内容の確認する質問を行う発話）、注意（安全等に対する配慮が欠けた場合に指導する発話）、同意（活動賞賛）（子供の活動を認め、そのまま奨励する発話）、同意（活動承認）（子供の活動をそのまま受けとめるような発話）、同意（活動奨励）（子供の活動をそのまま認めた上でさらに励ますような発話）、同意（活動不安受容）（子供と一緒に悩みながらも、結局解決策を示さないという発話）

## 成果要約

若手教員の初年度の実技教科における授業力向上をめざすための課題は以下のようになった。

①導入部に「指示」に分類した発話の出現率が非常に高い。また、授業の展開部においても、導入部の「指示」が徹底していないことから、その内容に関して児童に伝わらない場面が多く見られ、展開部において児童が不安を抱いたり、質問を口にしたたり、さらには活動が停滞する場面がある。

②環境構成に関する板書やICT機器の活用についても、教師の発話と連動していない場面が見られ児童に活動内容を十分に理解させることができないことがある。

③展開部において「同意」に当たる発話が少なく、子供の活動のよさを認めていきながら、一人一人の抱える問題に応じた指導ができないことがある。

こうした課題から、平成 30 年度の学部学生対象の実技教科（図画工作科）の必修科目において学生による模擬授業の際に、「発話チェックカード」を用いて、自己の発話を確認することにした。さらに、その際に、児童役の学生には、教師役の学生の指導に反応して活動することを徹底することで、板書や ICT 機器の活用と発話を結びつけた指導の有効性を振り返りの際に確認できるようにした。

ただし、修士課程を修了し実技教科の専門教育を受けている若手教員は、その教科観が学部卒の学生よりも高いレベルにあることも判明し、学部の教員養成教育の段階で、“主要教科”に対するそれぞれの実技教科の存在意義を確認する内容も盛り込む必要性を感じた。

<p>研究成果 発表状況</p>	<p><b>【雑誌論文、学会発表、図書、新聞掲載、作成 Web ページ、特許権等の出願・取得状況】</b></p> <p>第 40 回美術科教育学会滋賀大会 於：滋賀大学教育学部（平成 30 年 3 月 30 日発表） 「若手教員の図画工作科授業力の向上を支えるために-模擬授業を組み込んだシラバスへの改善の試みを通して」</p>		
<p>経費の 執行状況</p>	<p style="text-align: center;">区 分</p> <p><b>【物品費】</b> デジタルビデオカメラ ウェアラブルカメラ テープ起こし SD カード 6 4 GB</p> <p><b>【旅費】</b> 学校訪問用旅費</p> <p><b>【謝金】</b></p> <p><b>【その他】</b></p> <p style="text-align: center;">合計</p>	<p style="text-align: center;">執行額（円）</p> <p style="text-align: right;">257,000 円 32,940 円 154,000 円 3,400 円 2,660 円</p> <p style="text-align: right;">450,000 円</p>	<p style="text-align: center;">備 考</p>